



松田食品工業株式会社 S D G s への取り組み



持続可能な開発目標SDGsエス・ディー・ジーズとは

持続可能な開発目標（SDGs: Sustainable Development Goals）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。



**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS**

①「おいしく、健康、安心、安全」で 信頼され喜ばれる製品を提供する



当社は2001年に同業界に先駆けISO9001の認証登録を行いお客様とのお約束である環境・品質方針を軸に事業を行っていましたが、2017年9月に食品安全マネジメントシステムに関する国際規格であるISO22000の認証登録を行いました。
HACCPの食品衛生の管理手法をもとに食品安全リスクを低減し消費者の皆様に安全な食品を提供します。



②食品廃棄物の削減・ゴミの分別



食品廃棄物排出量削減。そのために適正な生産計画、工程管理と販売促進及び再生利用を進めます。(分別の徹底、廃棄物の再生利用委託等)

【製造廃棄の再利用】 ※飼料として再利用



【リサイクル業者による段ボール再利用】



③電気使用量削減



生産機器のメンテナンス(整備記録管理)、不使用機器のスイッチオフ、
エアコン適温設定、クールビズ・ウォームビズの実施、LED化への移行

工場事務所 デチェック項目		月												工場事務所 デチェック項目																		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
エアコン設定温度	25℃以上/20℃以下																															
照明	不要な灯は消す																															
空調	1日1回点検																															
換気	必要に応じて換気																															
窓	必要に応じて開閉																															
換気扇	必要に応じて清掃																															
チェック結果	担当者																															



【事務所・工場のLED化】

【クールビズ実施】



【退出チェックによる電気の消し忘れ防止】

④CO2排出量の削減



ばい煙発生施設届(ボイラー)ばい煙排出基準の遵守
小口配送集約と物流ルート効率化
安全運転(エコドライブ)の啓蒙

【自社便による物流ルート効率化】



【制御装置・流量計を設置してボイラー管理】



⑤いつでもどこでもできる学びの機会を創出する

VUCAの時代に生きる私たち
環境の変化にスピーディーに対応していくためには
【常に学び、速やかに実行する】ことが大切です。

働き方が多様化している現在、
学び方の多様化も同時に進めていくために
いつでもどこでも動画で学習できるシステムを
導入しました。

一人一人の成長に貢献することで、
働く私たち一人一人が社会に貢献していく…
そんな素晴らしいループをみんなで作ってまいります。



⑥海外人財の 能力向上と生活サポート



海外人財の採用を進めていくに当たり
働きがいある職場を共に作り
生活を充実させていくためには
備わった能力と語学力にさらに磨きをかけることが必要です
そこで、外部機関から講師をお招きし
生活面のサポートやケアを含め
惣菜製造業 技能評価試験 初級・及び専門級の
全員合格を目指し惣菜製造に関する基礎知識の
習得に努めています
また日本語教育を担当する社内講師の
技量を高めるため、日本語学校にご指導を仰ぎ
指導法のブラッシュアップも行っています

